



学校だより 第 6 号

令和 6 年 10 月

上越市立城西中学校

啐（そつ）とは、鳥が卵からかえるとき、殻の中で雛が鳴くこと。啄（たく）とは、親鳥が外から殻をつつくこと。両者相呼応した、逃すべからざる好機をいう。当校では、啐啄の精神から大きな成果が生まれると考え、職員玄関に掲額している。

「ありがとう」の思い。今こそ。



【創立 60 周年記念体育祭】(9/26) 多くの保護者の皆様にボランティアとして支えていただき、多くのご家族や地域の皆様からご来場、ご声援をいただきました。



【第 20 回 雁木通りフェスティバル】(9/29) 吹奏楽部の生徒にとって、お客様との距離が最も近い演奏会です。多くの方に鑑賞いただき、アンコール演奏まで、温かなご声援と拍手をいただきました。

「パンデミックは、再び起こる」と、専門家が言います。「災害の激甚化、頻発化は今後も続く」と、「防災白書」が告げています。能登から、悲痛な叫びが、文字で、音声で、映像で、届いてきます。世界のあちこちで、争い、命の奪い合いが続いています。

—— 「ありがたい」＝「ありがたし(有り難し)」。「めったにない。珍しい。まれだ。」の意。——

たくさんの方から、温かなまなざしや声援をいただきながら、仲間と共に、打ち込む。楽しむ。こんな、「当たり前」と思われていたことこそが、今、とても「有り難い」ものなのだと感じています。生徒、職員ともに、「有り難し」の心を忘れず、今を大切に、過ごしてまいります。地域の皆様、保護者の皆様、いつも、本当にありがとうございます。（校長 五十嵐 守男）

創立 60 周年記念体育祭

～共闘・共楽 #共に闘う #共に楽しむ #共に青春を～

9 月 26 日（木）に、体育祭が、秋晴れの空のもとで開催されました。昨年と同様、9 月に入っても気温が高い日が続く中、創立 60 周年記念となる体育祭を成功させるため、体育祭実行委員会と各軍のリーダーが中心となり、準備を進めました。

今年のスローガン『共闘・共楽』の通り、共に闘い、共に楽しむ体育祭となりました。

閉会式では、団長たちの「今日の体育祭、楽しかったですか？」の問いかけに、多くの生徒が「楽しかった！」と答えてくれていました。多くの方々からご来場いただき、創立 60 周年を記念しての人文写真撮影にもご協力いただきました。まことにありがとうございました。

<体育祭実行委員長 さん 閉会式のあいさつ>

今までの練習が本番に繋がり、共に生きる「共生」が実現できましたね。一生懸命競技をする姿、仲間を応援する姿、とても良い体育祭になったと思います。そして、どの軍も競技や応援に工夫を凝らし、勝つための努力がすばらしいと思いました。体育祭で学んだことや感じたこと、得られたものをこれからの学校生活に生かして、よりよい城西中を目指し、一緒に頑張っていきましょう。

PTA ボランティアの皆様、地域の皆様、保護者の皆様、先生方、生徒の皆さん、この体育祭に協力いただいた全ての方々、本当にありがとうございました。



悪戦苦闘の“超”大玉送り



選抜リレー 白熱のアンカー勝負



環境整備委員会の生徒が作成してくれた体育祭スローガン



城西向上委員会の生徒が作成してくれた得点版

どの軍のパネルも、素晴らしい出来栄え！ 採点は困難を極めました。
パネル担当の皆さん、体育祭を盛り上げてくれてありがとうございました。



青軍パネル：冬夏青青



黒軍パネル：冠善黒風



桃軍パネル：桃李満門



紅軍パネル：紅華繚乱



黄軍パネル：狂黄乱舞



閉会式では、各軍団長から、今日の感動や、これまでのみんなへの感謝の気持ち、ご来場された保護者や地域の皆様への感謝の言葉が語られました。
5 人の団長、お疲れ様でした。そして、素晴らしい体育祭をありがとう！！

学校の設備が新しくなりました。

< 体育館の照明 >

10月5日（土）から11日（金）までの間、体育館照明の交換工事が行われました。ご協力ありがとうございました。全面 LED 照明となり、「節電中ですか」と聞かれることもあった以前に比べると、かなり明るくなりました。ご来校の際、ぜひ、体育館をご覧ください。



< 内線電話の設置 >

数年前から市に要望していました内線電話が、10月上旬から使えるようになりました。緊急事態時の対応や体調が悪い場合の連絡など、安全管理上の大きな環境改善となります。各教室をはじめ、校舎内に30カ所取り付けられた内線電話を有効に使って、より安全な学校づくりに努めてまいります。



防災キャンプ(避難所体験)

「城西中学校地域子どもを育てる会」の主催で、10月11日（金）～12日（土）に本校体育館で、防災キャンプが開催されました。本年1月の能登半島地震など、災害が激甚化、頻発化していることを受け、地域の皆様と共に、子どもたちの防災意識を高められればと願っての取組です。

普段食べたことのない非常食を食べたり、国立妙高青少年自然の家職員から「東日本大震災の時の避難所の様子」についてお聞きしたりするなど、貴重な機会となりました。参加いただきました校区内の小中学生やご家族、地域の皆様、まことにありがとうございました。また、開催にあたり、ご協力、ご支援いただきました皆様にも感謝申し上げます。

参加者からは、「貴重な経験でした」「楽しく学べた」「ごはんが意外においしかった」「実際のことを考えると不安になることもありました」などの感想をいただきました。今後も「育てる会」をはじめ地域の皆様と協力しながら、防災についての教育や取組を進めていきたいと考えております。



東日本大震災の時の話を聞きました ←



段ボールでベッドを作りました ←



「意外においしかった」と感想をいただいた非常食です →

11月の予定

1日（金）第4教育期開始

「よりよい未来を考える」

5日（火）生徒朝会

6日（水）3年生 上進連テスト③

11日（月）チャレンジテスト③（～15日まで）

12日（火）市学校研一斉研修 午後授業なし

*市内小中学校の教職員が、教科や領域ごとに研修を行う日です。

13日（水）生徒会専門委員会

19日（火）生徒朝会

22日（金）小6児童向け中学校説明会

25日（月）教育相談（～29日まで）

29日（金）文化祭候補日

*文化祭については、現在、実行委員の生徒を中心に、内容を検討中です。詳細が決まりましたらご案内を差し上げます。

